

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史

科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：別木 萌果

使用教科書：（「高等学校 新歴史総合」（歴総711）第一学習社）

教科 地理歴史 の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合	の目標：	・社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、公民としての資質・能力を育成する。
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
	【学びに向かう力、人間性等】	
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1節 18世紀のアジアの繁栄 第2節 工業化の進展と国民国家の建設 第3節 結び付く世界と日本の開国 第4節 帝国主義とアジア諸国の変容・アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀の日本やその他のアジアにおける経済活動や社会の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを考察し表現して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを考察し表現して、工業化と世界市場の形成を理解する。 ・アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを考察し表現して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ・帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを考察し表現して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。 ・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。	第1節 18世紀のアジアの繁栄 第2節 工業化の進展と国民国家の建設 第3節 結び付く世界と日本の開国 第4節 帝国主義とアジア諸国の変容	・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。 ・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 ・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。	○	○	○	17
定期考査			○	○		1

1 学 期	<p>近代化と現代的な諸課題 ・自由・制限, 平等・格差, 開発・保全, 統合・分化, 対立・協調などの観点から主題を設定し, 近現代の歴史に存在した課題について, 同時代の社会および人々がそれをどのように受けとめ, 対処の仕方を講じたのかを諸資料を活用して考察し, 現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。 ・現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。 ・事象の背景や原因, 結果や影響などに着目して, アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 主題について多面的・多角的に考察し, 表現する。 ・諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>近代化と現代的な諸課題 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第1節 第一次世界大戦と大衆社会</p>	<p>・自由・制限, 平等・格差, 開発・保全, 統合・分化, 対立・協調などの観点から主題を設定し, 現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。 ・事象の背景や原因, 結果や影響などに着目して, アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 主題について多面的・多角的に考察し, 表現する。 ・諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 ・国際関係の緊密化, アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭, 植民地の独立, 大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化, 生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し, 問いを表現する。 ・諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 ・第一次世界大戦の展開, 日本やアジアの経済成長, ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭, ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に, 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上, 大正デモクラシーと政党政治, 大量消費社会と大衆文化, 教育の普及とマスメディアの発達などを基に, 大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響, 日本の参戦の背景と影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 第一次世界大戦の性格と惨禍, 日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し, 表現する。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し, 表現する。 ・諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	○	○	○	14
定期	考査			○	○		1

2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とその他の国や地域の動向とを比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを考察したり表現したりして、国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを考察したり表現したりして、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	<p>第2節 経済危機と第二次世界大戦</p> <p>第3節 第二次世界大戦後の世界と日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	<ul style="list-style-type: none"> ・国際秩序の変化や大衆化への問い ・中学校までの学習並びにこれまでの学習を踏まえ、国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を活用して情報を読み取ったりまとめたりする技能を習得し、私たちの生活や社会の在り方、国際秩序の変化や大衆化に伴い変化したことについて考察するための問いを表現する。 ・資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 	<p>国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。 ・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	<p>第3章 グローバル化と私たち</p> <p>グローバル化への問い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ・グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

合計
78

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

公民 科目 シティズンシップ

教科： 公民

科目： シティズンシップ

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組

教科担当者： 別木 萌果

使用教科書： ()

教科 公民

目標：

【知識及び技能】 ・現代に生きる人間と公共社会についての見方・考え方を育む

【思考力、判断力、表現力等】 ・現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を行う。

【学びに向かう力、人間性等】 ・広い視野にたち、グローバル化する国際社会に主体的に生きることができ、平和で民主的な社会の形成者として必要な市民としての資質・能力・態度を育成する。

科目 シティズンシップ

目標： 多様な生徒が生き生きと学ぶことができる。生徒が主体的に学ぶことができる。より良い市民として社会をつくることができる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<p>・グローバル社会に生きるために必要な国際性や多文化共生社会で求められる知識や考え方を身に付ける。</p> <p>・生徒が現代の社会・政治・経済の基本的な知識を総合的・横断的に把握し、興味・関心を高める。</p>	<p>・知識を身に付けるだけでなく、生涯を通して学ぶことの大切さに気づき、創造力や批判的思考を養い、社会の中で人間らしく生きていくための方法を探することができるようにする。</p> <p>・事実や根拠をもとにして主体的に自らの思考・判断・表現できるようになる。</p>	<p>・よりよい社会の実現に向けて、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p> <p>・一人ひとりの主権者、市民として、多様性を尊重し、人権を尊重し、寛容な態度、協力し合うことの大切さを育む。</p> <p>・多様な他者と共に生き、協力して新たな社会を構築できるようになる。</p>

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>自分と向き合う</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・これまでの自分について認識を深め、よりよく生きるために、自己の生き方についての思索を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・自己を見つめることを通して、思想や哲学、宗教の意味や意義、「幸福」「愛」「徳」など、人間としての在り方生き方について思索する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・自己の在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・地球温暖化について知り、現代世界が置かれている状況と課題に気付く</p> <p>・これまでの自分を見つめ、自分についての理解を深める</p> <p>・わたしの大切なものは何か調べる</p> <p>・楽しいこと・悲しいこと</p> <p>内容</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・地球温暖化について理解し、その基本的な知識を身につけている。</p> <p>・自分をしっかり見つめることができているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・地球温暖化ともたらす諸課題について考えることができ、文章やことばで表現できるか。</p> <p>・自己の内面形成とについて考察し、適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・地球温暖化の諸課題に対応しようとする姿勢が見られるか。</p> <p>・自分を見つめ、自分自身を形成していこうとする態度や行動が見られるか。</p>	○	○	○	4
<p>自己とアイデンティティ</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・自分自身を捉えなおし、自己のアイデンティティの形成についての知識を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・自己とアイデンティティについて、考えたり、認識しようとするともに、アイデンティティの大切さと多様性について考え、判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・自己のより良い形成とアイデンティティの尊重について考察し、育むことができる。</p> <p>・個人の尊厳について考える。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・自己形成とアイデンティティの確立について考える。</p> <p>・アイデンティティとは何か考えさせる。</p> <p>・自分の大切なものを気づく。</p> <p>・かけがえのない自分を認識する。</p> <p>・楽しいこと、悲しかったことリストづくり。</p> <p>内容</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・自分自身を捉えなおすために必要な知識を身に付けることができたか。</p> <p>・アイデンティティとは何かについての知識を学ぼうとすることができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・よりよい自己を形成しようとするために思考することができたか。</p> <p>・アイデンティティの大切さについて考え、多様なアイデンティティがあることに気付くことができるか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・自己を高め、より望ましい自己形成をはかるようとする姿勢が見られるか。</p> <p>・多様なアイデンティティを尊重しようとすることができるか。</p>	○	○	○	4
<p>個人の尊厳と人権</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・個人がどのように誕生し、形成されてきたのか近代の思想を知る。</p> <p>・個人の尊厳がいかに大切にされるようになったのか基本的な知識を学ぶ。</p> <p>・人権思想がどのように形成されてきたのかについて理解する。</p> <p>・人間の尊厳と自由、平等について探究する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・個人がなぜ形成されるようになったのか気づく。</p> <p>・個人の尊厳の大切さについて考えることができる。</p> <p>・人権の考えが発展してきた理由や背景、根拠について学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・個人の尊厳を大切にできる考えや姿勢を身に付ける。</p> <p>・人権を尊重し、人権大切にしようと考え、行動することができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・個人の誕生と形成についての基礎的な知識が身に付くようにする。</p> <p>・個人の尊厳の大切についての具体的な知識を学ぶ。</p> <p>・人権思想の歴史や形成について学ぶ。</p> <p>・人間の尊厳と自由、平等について考える。</p> <p>内容</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・個人が誕生し、形成されてきたのか近代の思想を知ることができた。</p> <p>・個人の尊厳がいかに大切にされるようになったのか基本的な知識を学ぶことができたか。</p> <p>・人権思想がどのように形成されてきたのかについて理解することができたか。</p> <p>・人間の尊厳と自由、平等について探究することができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・個人が誕生し、形成されてきたのか自分自身で考えることができたか。</p> <p>・個人の尊厳がいかに大切にされるようになったのか基本的な知識を学ぶことが思考できたか。</p> <p>・人権思想がどのように形成されてきたのかについて理解し、思考判断することができたか。</p> <p>・人間の尊厳と自由、平等について探究し、表現することができたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・個人の尊厳について考えることで自分と他者を尊重するようになったか。あ</p> <p>・人権について考え、人権を尊重するために表現や行動に結び付けることができたか。</p>	○	○	○	3

2 学 期	<p>他者と出会う</p> <p>【知識及び技能】 個人が他者をどのように認識するようになったのかを知る。社会の多様性について気づく。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 個人が他者とどう向き合い、関係を築いてきたのか、考えてみる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他者を知り、他者を尊重し、寛容について実践してみようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人と他者との出会いについて気付かせる。 他者と自分との違いに気付かせる。 多様な他者が存在していることを認識できるようにする。 寛容とはなにか考えてみる。 <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分と他者との違いについて気付くことができたか。 多様性について知ることができたか。 寛容とは何か、思想史上の知識を身に付けることができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分と他者との違いについて考えることができたか。 多様性について考えることができたか。 寛容について、人類の思想の特徴を考えることができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者について違いを認めようとする姿勢ができたか。 社会の多様性について、尊重しようとする姿勢が見られたか。 寛容性について、身に付けることができたか。 	○	○	○	7
2 学 期	<p>市民として生きる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人が他者と共に生きることが出来る。 市民としてより良い社会を形成することができる。 よりよい民主社会の成り立ちと仕組みに気付く。主権者の学習。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人が他者と共に生きるためにどのような考えや力が必要なのか。 市民として市民社会を形成するために大切なこと 民主社会に参加し、構築するために求められるもの。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者と共に生きるために必要な力。 よりよい市民社会を形成するための市民力とは。 民主社会に参加するための資質とは 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人が他者と共に生きることが出来ることを考える。 市民としてより良い社会を形成することができるために何が求められるか。 よりよい民主社会の成り立ちと仕組みはどのようになっているのか。 市民としてどう行動できるか。 主権者としての姿勢を身に付けることができるようにする。 <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者と共に生きることが出来るか。 市民としてより良い社会を形成することができるか。 よりよい民主社会の成り立ちと仕組みに気付くことができるか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者と共に生きるためにどのような考えや力が必要なのか考えることができるか。 市民として市民社会を形成するために大切なことを表現できているのか。 民主社会に参加し、構築するために求められるものは何か、考えることができるか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者と共に生きるために必要な力を身に付けることができたか。 よりよい市民社会を形成するための市民、主権者として行動できたか。 	○	○	○	7
3 学 期	<p>グローバル世界で生きる市民</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル世界とは何だろう。 国際社会の変遷、国際人権、国際社会が抱える課題を考察する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル世界で生きる市民として、世界の諸課題について思考し、自分の判断が持てるようになる。 国際社会の在り方や課題を多角的・多面的に考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル世界の諸課題について、国際的な取り組みについて、自分自身のこととして関心を持つ。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル世界について基本的な知識が身に付くようにする。 国際社会の諸課題や国際人権について気付き、グローバル市民として必要な姿勢、思考力、判断力、表現力が身に付くようにする。 自分自身のこととして、グローバル世界に住む人たちのことを考えることができるようにする。 	<p>グローバル世界で生きる市民</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル世界で生きるために必要な知識を身に付けることができたか。 国際社会の変遷、国際人権、国際社会が抱える課題を考察することができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル世界で生きる市民として、世界の諸課題について思考し、自分の判断が持てるようになったか。 国際社会の在り方や課題を多角的・多面的に考察することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル世界の諸課題について、国際的な取り組みについて、自分自身のこととして関心を持つことができたか。 	○	○	○	5
合計							30

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科：数学 科目：数学Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組

教科担当者：（A組）鯉沼宏仁 板井勝典

使用教科書：（高校数学Ⅱ（実教出版））

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識や事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けられるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学Ⅱにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表す式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身につけることができるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようしたりする態度を育む。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	・式の見方を豊かにするとともに、3次の乗法公式および因数分解の公式について理解を深める。また、二項定理を用いた展開や、分数式の四則演算ができるようにする。	1章 複素数と方程式 1節 式の計算 1. 整式の乗法 2. 因数分解 3. 二項定理 4. 分数式	【知識・技能】 ・3次の乗法公式や因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解ができる。 ・分数式の四則計算の方法について理解し、計算ができる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・3次の乗法公式や因数分解の公式について、既に学習した2次式の場合と関連付けて多面的に考察できる。 ・分数式の計算の方法を、既に学習した分数の計算と関連付けて多面的に考察できる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・3次の乗法公式を数の計算に活用できることに興味をもち、実際の計算に活用しようとしている。 ・分数式の計算について、分数と同様に考えられることに興味をもっている。 （授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。）	○			10
	定期考査			○	○		1
	・数を複素数まで拡張することの意義を理解し、複素数の四則演算ができるようにする。また、2次方程式の解について理解を深める。	2節 複素数と2次方程式 1. 複素数 2. 2次方程式 3. 解と係数の関係	【知識・技能】 ・数を複素数まで拡張することの意義を理解し、複素数の四則計算ができる。 ・2次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解できる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・複素数の四則計算の方法を、既に学習した数や式の計算と関連付けて、同様な点や異なる点を考察できる。 ・式の値を計算する際に、適切に式を変形すると解と係数の関係を利用できることを考察できる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数を複素数まで拡張していく過程に関心を持ち、調べようとしている。 ・判別式の良さがわかり、解の種類の判別を調べようとしている。 （授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。）	○		○	15
定期考査			○	○	○	3	

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：（A組：秋元 翔）

使用教科書：（ 高校生物基礎visual 実教出版 ）

教科 理科 の目標： 自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、科学的な自然観を育成する。

【知識及び技能】 自然の事物・現象に対する関心や探究心を高める。

【思考力、判断力、表現力等】 理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行う。

【学びに向かう力、人間性等】 科学的に探究する能力と態度を育てる。

科目 生物基礎 の目標： 生物や生物現象に関わり、科学的に探究するための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養われている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 生物の多様性と共通性 さまざまな生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見出して理解する。 生物に共通する性質は細胞であることを理解させる。また、細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解させる。	・指導事項 1 生物の多様性と共通性 2 細胞 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 【思考・判断・表現】 細胞におけるDNAのはたらきについて理解し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 原核細胞と真核細胞について、細胞に含まれる細胞小器官をもとに、違いを理解しようとする。	○	○	○	6
B 単元 生物とエネルギー 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。その際、呼吸と光合成の概要を扱う。 光合成や呼吸がATPを合成する反応であることを理解させる。 代謝の反応が行われるときに、酵素がどのように関与しているのか理解させる。	・指導事項 1 代謝とエネルギー 2 酵素と代謝 3 光合成と吸収 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 【思考・判断・表現】 呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、ATPと関連づけて考察し、それを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
C 単元 遺伝とDNA DNAの構造や性質を、研究史を展開しながら理解させる。 DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を理解させる。 DNAが体細胞分裂の際に複製され、質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解させる。	・指導事項 1 遺伝情報とDNA 2 DNAの複製と分配 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 DNAが二重らせん構造であること、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。 【思考・判断・表現】 DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1

高等学校 令和8年度（3学年用）教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～ 組

教科担当者：（A組：河合・松本）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標：生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするために、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 体づくり運動 【知識・技能】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解させる。 【思考・判断・表現】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組むさせるとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどさせ、健康・安全を確保させる。	体ほぐし運動 ・体の伸展、屈曲、回転、捻転などの運動をゆっくりのびのびと、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 ・歩、走、跳などの全身運動を自分にとって快いペース、ゆったりとした動きや気持ち、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 体力を高める運動 ・大きな力を発揮する能力を高めるための運動 ・スピーディーなあるいはパワフルな動きができる能力を高める運動 ・動きを維持する能力をたかめるための運動 ・総合的に体力を高めるための運動	【知識・技能】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどしたり、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	8
B フライングディスク 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・フォアハンドスロー、バックハンドスロー、キャッチングを身に付ける アルティメット ・個人技能 ピボット&フェイク、レシーバーへのパス、カットングをみにつける ・集団技能 ・速攻、セットオフense、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	12
C ソフトボール 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防する。（技能）	個人技能 ・スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングなどを身に付ける。 集団技能 ・バントエンドラン、ヒットエン	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。（技能）				

<p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>ドラン、ダブルスチール等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。</p>	<p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	10
--	---	---	---	---	---	----

<p>D バドミントン</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。(知識) 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイクリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピン、ロブなどの各種のフライング、サービス、レシーブなどを身に付ける。 <p>ダブルスに関わる技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の動きやフライングの種類、コースなどに応じたパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。 	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識) 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>				10
<p>E 陸上競技(長距離)</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解させる。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走らせる。</p> <p>【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己の考えたことを他者につたえさせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組ませるとともに、勝敗などを冷静に受け止めさせ、ルールやマナーを大切にさせ、自己の責任を果たさせ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にさせることなどをしたり、健康・安全を確保したりさせる。</p>	<p>持久走</p> <p>決められた周回数を自分のペースを維持して走り続ける。また、体力のある生徒はタイムを意識して速く走る。</p>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者につたえている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	12
<p>F サッカー</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。(知識) 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パス、とらッピング、ドリブル、ヘディング、タックル、シュート、スローイング、フェイント、ゴールキーピングなどを身に付ける。 <p>集団技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速攻、遅攻、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス、チームのシステム、ゴールキーパーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。 	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識) 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	4
<p>F テニス</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。(知識) 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドストローク、ボレー、スマッシュ、ロビング、サービス、レシーブなどを身に付ける。 <p>ダブルスに関わる技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビネーションプレーなどのパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。 	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識) 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	6

	<p>けいなどをお互にやること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>						
3 学 期	<p>G バスケットボール</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。(知識)</p> <p>安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイント、ビボットなどを身に付ける。 <p>集団技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速攻、セットオフフェンス、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。 	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識)</p> <p>安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8
	<p>H 卓球</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。(知識)</p> <p>役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サーブ、レシーブなどを身に付ける。 <p>ダブルスに関わる技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の球種へ対応するためのお互いの位置の取り方などパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。 	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識)</p> <p>安定したパッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8
							合計
							78

高等学校 令和8年度（3学年用）教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：選択体育 単位数：1 単位

対象学年組：第3学年 A組～ 組

教科担当者：（A組：河合 ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするために、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 体づくり運動 【知識・技能】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解させる。 【思考・判断・表現】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組むさせるとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどさせ、健康・安全を確保させる。	体ほぐし運動 ・体の伸展、屈曲、回転、捻転などの運動をゆっくりのびのびと、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 ・歩、走、跳などの全身運動を自分にとって快いペース、ゆったりとした動きや気持ち、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 体力を高める運動 ・大きな力を発揮する能力を高めるための運動 ・スピーディーなあるいはパワフルな動きができる能力を高める運動 ・動きを維持する能力をたかめるための運動 ・総合的に体力を高めるための運動	【知識・技能】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	4
B フライングディスク 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・フォアハンドスロー、バックハンドスロー、キャッチングを身に付ける アルティメット ・個人技能 ピボット&フェイク、レシーバーへのパス、カットングをみにつける ・集団技能 ・速攻、セットオフフェンス、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
C ソフトボール 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防する。（技能）	個人技能 ・スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングなどを身に付ける。 集団技能 ・バントエンドラン、ヒットエン	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。（技能）				

1
学
期

<p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>ドラン、ダブルスチール等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。</p>	<p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	5
--	---	---	---	---	---	---

<p>D バドミントン</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。(知識)</p> <p>役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイクリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピン、ロブなどの各種のフライング、サービス、レシーブなどを身に付ける。 <p>ダブルスに関わる技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の動きやフライングの種類、コースなどに応じたパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。 	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識)</p> <p>役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとするなどをする、健康・安全を確保したりしている。</p>				5
<p>E 陸上競技(長距離)</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解させる。</p> <p>長距離走では、自己に適したペースを維持して走らせる。</p> <p>【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己の考えたことを他者につたえさせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止めさせ、ルールやマナーを大切にさせ、自己の責任を果たさせ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にさせることなどをしたり、健康・安全を確保したりさせる。</p>	<p>持久走</p> <p>決められた周回数を自分のペースを維持して走り続ける。また、体力のある生徒はタイムを意識して速く走る。</p>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者につたえている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをする、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	6
<p>F サッカー</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。(知識)</p> <p>安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パス、トラッピング、ドリブル、ヘディング、タックル、シュート、スローイング、フェイント、ゴールキーピングなどを身に付ける。 <p>集団技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速攻、遅攻、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス、チームのシステム、ゴールキーパーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。 	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識)</p> <p>安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとするなどをする、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	2
<p>F テニス</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。(知識)</p> <p>役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドストローク、ボレー、スマッシュ、ロビング、サービス、レシーブなどを身に付ける。 <p>ダブルスに関わる技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビネーションプレーなどのパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。 	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識)</p> <p>役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとするなどをする、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	3

	<p>けいなどをお互にやること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>						
3 学 期	<p>G バスケットボール</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。(知識)</p> <p>安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイント、ビボットなどを身に付ける。 <p>集団技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速攻、セットオフフェンス、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。 	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識)</p> <p>安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	4
	<p>H 卓球</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。(知識)</p> <p>役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サーブ、レシーブなどを身に付ける。 <p>ダブルスに関わる技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の球種へ対応するためのお互いの位置の取り方などパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。 	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識)</p> <p>安定したパッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	4
							合計
							39

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 A組～
 教科担当者：（梅津幸子（組：）（組：）（組：）（組：）（組：））
 使用教科書：（光村図書 書 I（））

教科 芸術 の目標：
 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	書道で学習すること 書写から書道へ 【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果との関わり 用筆・運筆から生み出される書の表現性 【思考力、判断力、表現力等】 生活や社会社会における書の効用 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に高校書道の幅広い表現の学習に取り組む	・書道の三分野（漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じりの書）と、臨書・鑑賞・創作という学習方法があることを理解する。 ・小・中学校国語科書写と高校書道の学習の違いを理解する。 ・国語科書写で学習した内容（筆使い・字形など）を確認する。	【知】・芸術科書道で学習することを理解している。・小・中学校国語科書写で学習した内容を理解している。 【思】国語科書写で学習した楷書の用筆を理解している。 【態】・高校書道での学習を主体的に取り組んでいこうとする態度を養っている。小・中学校書写で学習した内容を主体的に振り返っている。	○	○	○	10
	漢字の書 楷書 【知識及び技能】 書風と古典に基づく基本的な用筆・運筆 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想・工夫 【学びに向かう力、人間性等】 楷書のよさや美しさを感じ、主体的に楷書の幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む	・楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、技法を習得する。 ・古典を臨書する意義について理解する。 ・唐の四大家の楷書作品の臨書から書風の違いを理解し、技法を習得する。	【知】臨書を通して唐の四大家の楷書作品の字形や線質・点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技法を理解している。 【思】鑑賞を通して唐の四大家の楷書作品の書風とそれを形成する表現の要素を理解し、臨書に生かしている。 【態】唐の四大家の楷書作品に関心をもち、その美を味わおうとしている。	○	○	○	16
2 学 期	漢字の書 行書 【知識及び技能】 書体や書風と用筆・運筆との関わり 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想・工夫 【学びに向かう力、人間性等】 行書のよさや美しさを感じ、主体的に行書の幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む	・行書の特徴を理解する。 ・行書の用筆・運筆の技法を理解し、習得する。 ・書道史における書聖・王羲之と「蘭亭序」について理解する。 ・「蘭亭序」を鑑賞し、卒意の書ならではの多様な書きぶりを理解する。・筆脈と抑揚を意識して「蘭亭序」を臨書する。	【知】臨書を通して「蘭亭序」の線質や点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技法を理解している。 【思】鑑賞を通して「蘭亭序」の書風とそれを形成する表現の要素を理解し、臨書に生かしている。 【態】行書の字形や用筆の特徴について、主体的に確認している。「蘭亭序」に関心をもち、その美を味わおうとしている。	○	○	○	18

2 学期	仮名の書 【知識及び技能】 古典に基づく基本的な用筆・運筆、線質を生かした表現 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成 【学びに向かう力、人間性等】 仮名の書のよさや美しさを感じ、主体的に仮名の書の幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立について理解する。 ・仮名の基本的な用筆・運筆を理解し、習得する。 ・平仮名の字源を知り、正確に字形を捉える。 ・変体仮名について理解する。 ・「高野切第三種」を鑑賞し、典型的な仮名の美を感じ取る。 ・「高野切第三種」をもとに連綿の法則を理解する。 ・「高野切第三種」の伸びやかな用筆・運筆を意識して臨書する。 	【知】 「高野切第三種」の臨書を通して、平仮名・変体仮名の字形や線質、連綿の法則を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技法を理解している。 【思】 鑑賞を通して、平仮名の字形や線質、変体仮名の多様性を理解し、臨書に生かしている。 【態】 仮名に関心をもち、典型的な古典作品である「高野切第三種」の美しさを味わおうとしている。	○	○	○	14
3 学期	漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 漢字と仮名の調和した線質による表現と目的や用途に即した効果的な表現 【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成と意図に基づいた表現 【学びに向かう力、人間性等】 書のよさや美しさを感じ、主体的に幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書の特徴を理解する。 ・漢字仮名交じりの書の作例を鑑賞し、漢字と仮名の調和や自由な紙面構成などの表現の特徴を確認する。 ・書く言葉を決め、古典や古筆の学習を通して習得した知識・技能を生かし、書体・書風、紙面構成、用具・用材などの観点で作品の構想を練る。 ・試作を重ね、表現を工夫し、作品を仕上げる。 ・作品を鑑賞し合い、学習の成果を交流する。 	【知】 漢字仮名交じりの書の特徴を理解している。 【思】 表現のねらいを明確に定め、古典や古筆の学習を通して習得した知識・技能を生かした構想を練っている。創作した作品を互いに鑑賞し、批評し合うことで、表現の意図と技法の効果について工夫している。 【態】 漢字仮名交じりの書の創作に関心をもち、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	20
合計							78

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭

科目： 家庭照合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組

教科担当者： (A組：高橋 瞳)

使用教科書： (教育図書 未来へつなぐ 家庭総合365)

教科 0

の目標：

【知識及び技能】 総合的な技術を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】 生活の充実向上を図るための課題を見だし、適切な判断ができる。

【学びに向かう力、人間性等】 生活の充実向上を図るための課題を見だし、適切な判断ができる。

科目 家庭総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活の充実向上を図るための課題を見だし、適切な	課題を見つけ適切に判断し、工夫する能力がある。 生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身につける。	主体的に取り組み実践的な態度を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	A編 第1章 【知識及び技能】 ・人の一生について、自己と他者社会との関わりから様々な生き方があることを理解する。 【思考・判断・表現】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を設定し、解決策を構想し課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに生活文化を継承し自分や家庭、地域の生活の充実向上を図る。	A編 第1章 生涯の生活設計 1 ①あなたの将来、どうする？ A編 第2章 青年期の自立と家族・家庭 ①自立への一歩を踏み出そう ②家族・家庭って何？ ③将来の自分と家庭を想像する	【知識・技能】 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。 【思考・判断・表現】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見だし、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働しよりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返っている。地域社会に参画しようとするとともに生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	6
	A編 第4章 【知識及び技能】 高齢期の心身の特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の自立生活を支えるためには、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見だし、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働しよりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに自分や家庭地域の生活の充実向上を図るために実践する。	A編 第4章 高齢期の生活と福祉 1 高齢化の現状 2 超高齢社会の課題 3 安心できる暮らしを支える	【知識・技能】 高齢期の心身の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見だし、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけられた。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢期の生活と福祉について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして地域社会に参画しようとするともに自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第3章 【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見だし、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働しよりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭地域の生活の充実向上を図るために実践する。	A編 第3章 子どもの生活と保育 ①子どもはどう生まれ育つ？ ②子どもとどうかわろう？ ③これからの子育てとは？	【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見だし、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけた。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働しよりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	18

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

商業 科目 情報処理

教科：商業

科目：情報処理

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組

教科担当者：佐伯 和昭

使用教科書：（情報処理 Prologue of Computer 実教出版）

教科 商業

の目標：

【知識及び技能】商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 情報処理

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 企業活動と情報処理 【知識及び技能】 ビジネスにおける情報の重要性を理解し、正しく活用するための知識・技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報化社会の一員として、モラルやマナーに関する正しい知識と判断に基づき行動できるように指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスにおける情報の役割に関心をもち、主体的かつ意欲的に学習に取り組む態度を養う。	・指導事項 第1節 情報処理の重要性 第2節 情報モラルと法規 第3節 コミュニケーションと情報デザイン ・教材 授業プリント、問題集 ・一人1 台端末の活用等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み	【知識・技能】 ビジネスにおける情報の重要性を理解し、正しく活用するための知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 コンピュータ犯罪や著作権問題、システム障害の危険性や問題点について、具体的に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおける情報の役割に関心をもち、情報化社会の一員としての自覚をもち、主体的かつ意欲的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	14
	第2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 【知識及び技能】 情報通信ネットワークの役割や仕組みを理解させる。インターネットの利用に必要な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の価値を的確に判断することができ、正しく情報を活用することができる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 情報通信ネットワークやインターネットの活用に関心をもち、主体的かつ意欲的に学習に取り組む態度を養う。	・指導事項 第1節 コンピュータシステムの概要 第2節 情報通信ネットワークのしくみと構成 第3節 インターネットの活用 第4節 情報セキュリティの確保 ・教材 授業プリント、問題集 ・一人1 台端末の活用 等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み	【知識・技能】 情報通信ネットワークの役割や仕組みを理解し、インターネットの利用に必要な知識と技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 工夫して情報検索をおこない、情報の価値や正確性を正しく判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 今日のビジネスを支える情報通信ネットワークやインターネットの活用に関心をもち、主体的かつ意欲的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査						
2 学 期	第3章 情報の集計と分析 【知識及び技能】 関数の書式や機能を理解させ、関数を利用した表作成と目的に応じたグラフの作成技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を分析して、適切な表の形式や関数を判断し、問題解決に必要な表やグラフに表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 表計算ソフトウェアによるビジネス業務の処理に興味をもち、主体的かつ意欲的に学習に取り組む態度を養う。	・指導事項 第1節 ビジネスと統計 第2節 関数を利用した表の作成 第3節 グラフの作成 第4節 情報の整列・検索・抽出 第5節 問題の発見と解決の方法 ・教材 授業プリント、問題集 ・一人1 台端末の活用 等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み	【知識及び技能】 関数の書式や機能を理解している。関数を利用した表の作成ができ、そのデータから目的に応じたグラフを作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を分析して、適切な表の形式や関数を選択し、問題を解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表計算ソフトウェアによるビジネス業務の処理に興味をもち、演習に積極的に参加し、主体的かつ意欲的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	16
	第4章 ビジネス文書の作成 【知識及び技能】 ワープロの基本的な操作方法を理解し、ビジネス文書の作成技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な操作方法もとに問題を的確に判断し、ビジネス文書を作成することができる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネス文書の重要性を理解し、ビジネス業務の処理に興味をもち、主体的かつ意欲的に学習に取り組む態度を養う。	・指導事項 第1節 ビジネス文書と表現 第2節 基本文書の作成 第3節 応用文書の作成 ・教材 授業プリント、問題集 ・一人1 台端末の活用 等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み	【知識及び技能】 ワープロの基本的な操作方法やホームポジション、タッチメソッドを理解し、ビジネス文書を正しく作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を分析し、既習事項を踏まえ目的に応じたビジネス文書の作成ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネス文書の重要性を理解し、ビジネス業務の処理に興味をもち、主体的かつ意欲的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査						

3 学 期	<p>第5章 プレゼンテーション</p> <p>【知識及び技能】 プレゼンテーションの目的を理解し、効果的な資料作成に必要な基本的な表現技法を習得させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じたストーリーの展開や資料の作成、話し方などについて考察し、効果的なプレゼンテーションを実施する能力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 効果的なプレゼンテーションの仕方に興味をもち、主体的かつ意欲的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>・指導事項 第1節 プレゼンテーションの技法 第2節 ビジネスにおけるプレゼンテーション</p> <p>・教材 授業プリント、問題集</p> <p>・一人1台端末の活用 等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み</p>	<p>【知識及び技能】 プレゼンテーションの目的を理解している。分かりやすい資料を作成するための基本的な表現技法を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じたストーリーの展開や資料の作成、話し方などについて考察し、効果的なプレゼンテーションを実施することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 効果的なプレゼンテーションの仕方に興味をもち、主体的かつ意欲的に学習に取り組んでいる。</p>	○	○	○	16
	定期考査					合計	78

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科：総合的な探究の時間

科目：総合的な探究の時間

単位数：1 単位

対象学年組：第3学年 A組

教科担当者：（A組：山本 友菜美）

使用教科書：（ ）

教科 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】各講座によりスキルを身に付けること

【思考力、判断力、表現力等】各講座によりスキルを表現すること

【学びに向かう力、人間性等】各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢

科目 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各講座によりスキルを身に付けること	各講座によりスキルを表現すること	各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けること 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現すること 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢	・遠足事前事後探究活動 ・進路に関する情報収集 ・日常や社会の中での疑問に対する探究活動	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢がある。	○	○	○	14
【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けること 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現すること 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢	・修学旅行（沖縄）事前探究活動 ・日常や社会の中での疑問に対する探究活動 ・探究活動の成果をもとにした学年行事の計画、実施 ・進路に関する情報収集	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢がある。	○	○	○	14
【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けること 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現すること 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢	・修学旅行（沖縄）事後探究活動 ・進路に関する情報収集	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢がある。	○	○	○	11
合計						39